

5月12日は  
民生委員・児童委員の日です

有田川町の民生委員・児童委員97人は「支えあう 住みよい社会 地域から」のスローガンのもと、地域の皆さまの立場に立って、安全で安心な福祉のまちづくりを目指して、多くの機関と連携してさまざまな取り組みをしています。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の公務員です。地域の一員として住民の相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、行政をはじめとした地域の専門機関へとつなぐパイプ役として活動しています。また、地域の見守り役として、定期的な訪問や、児童の登下校時の見守り活動などを行い、高齢者や障がい者世帯、子どもたちの安心安全の確保に尽力しています。

主任児童委員とは、民生委員・児童委員のうち、担当区域を持たず、児童福祉に関することを専門的に担当する民生委員・児童委員のことを言います。児童福祉関係機関との連



講演会の様子

絡調整や地域の児童委員と連携しながら、課題を抱える子育て家庭への支援をはじめとした児童健全育成活動に取り組んでいます。

民生委員・児童委員には、法律に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。安心してご相談ください。

4月18日(水)、金屋文化保健センターにおいて、有田川町民生委員児童委員協議会総会を開催しました。総会終了後には、「地域包括支援センター業務と民生委員の連携について」と題し、有田川町地域包括支援センターの職員による講演を行いました。安心して暮らせるまちづくりのため、今後も行政・民生委員が連携し、さまざまな取り組みを行っていきます。

問 金屋庁舎やすらぎ福祉課

編集後記

今月号の表紙は生石高原の山焼き。今年は風が非常に強く、火の勢いがいつにも増して猛烈…。煙の流れも早く、鮮やかな橙色が際立っていました。写真を見るよりも実際の山焼きを見てもらいたい!というのはもちろんですが、少しでも写真で雰囲気伝われば幸いです。

さて、まちのわだいでもお伝えをしましたが、広報ありだがわ4月号が、全国広報コンクールで入選3席(全国4位)になりました!全国広報コンクールとは、言うならば広報界の甲子園…。2017年中に発行した広報紙が和歌山県広報コンクール(県予選大会のようなもの)で審査され、各部門1位となった

広報紙だけが、県の代表として全国広報コンクールで審査を受けることができます。実際の甲子園ほどではありませんが、昭和39年から続くコンクールで、受賞することは全国の広報担当、そして自治体にとって非常に名誉のあることなのです…!

これも、これまで取材に応じてくださった皆さまや読んでくれている皆さまのおかげです。ありがとうございます。

わたしとしてもこの入選はとてもうれしいものなのですが、それよりも、地域の実情や有田川町の文化を知ってもらえる機会の一つとして、全国に発信できたことを誇りに思う気持ちの方が強いです。この記事を組んでよかったなあ…。

(今年度もがんばります!西岡紗希)

広告 広告に関するお問い合わせは、株式会社 和歌山毎日広告社 (☎073-423-9291 FAX073-428-2403)

卒業生の「楽しかった」の声に励まされ頑張ります。

卒業後も免許取得まで徹底してお付き合いさせていただきます。

とにかく駅から近い! ⇨

JR藤並駅東口から  
徒歩約3分

有田自動車学校

フリーダイヤル ☎0120-52-4415 (通話無料)

中型(一種・二種) | 準中型 | 普通(一種・二種) | 二輪(普通・大型)

★事前に何でもお聞きいただき、不安を解消してからご入校ください★

